

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名:『小児自閉症スペクトラム障害に対する抗精神病薬治療の有効性及び安全性に関する調査』

研究機関名: 東邦大学薬学部臨床薬学研究室

研究責任者: 松尾和廣(教授)

### 【研究の目的】

リスペリドンとアリピプラゾールは抗精神病薬に分類される薬剤で、小児自閉症スペクトラム障害に伴う易刺激性の改善に対して、高い有効性を発揮する薬剤です。しかし、どのような患者さんにリスペリドンまたはアリピプラゾールが適切であるのかは明確になっていません。また、リスペリドンとアリピプラゾールによる有害事象は少ないものの起こりうるものです。ですが、どのような患者さんに有害事象が起こるかを知ることができれば、より安全な薬物治療につながるため、リスペリドンとアリピプラゾールについて調査をする必要があります。

現在、日本において小児自閉症スペクトラム障害に伴う易刺激性に対するリスペリドンとアリピプラゾールを用いている患者さんの数は限られており、その比較を行った研究は少ない状況です。そこで本研究では、リスペリドンまたはアリピプラゾール使用患者を対象に実態調査を行い、その有効性・安全性に関する臨床データを収集・評価することで、薬学的視点から有効かつ安全に使用可能な患者群を明らかにします。これらは、今後の小児自閉症スペクトラム障害に伴う易刺激性に対する治療戦略を考える上で有用な情報となることが期待されます。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学薬学部 倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2016 年 3 月～2028 年 3 月までに医療法人ゆきこどもクリニックにおいてリスペリドン(医薬品名: リスパダール錠)またはアリピプラゾール(医薬品名: エビリファイ錠)を処方された方

方 法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

### 【研究に用いられる試料・情報】

情報: 病歴、診療の治療歴、リスペリドンまたはアリピプラゾールの有効性または副作用の発生状況、等

### 【個人情報について】

研究に利用する情報は、個人を識別可能な氏名、生年月日、住所、カルテ、ID 番号は収集する個人情報からは削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学薬学部臨床薬学研究室

職位・氏名 教授・松尾 和廣

電話 047-472-1667(直通)